

白布城だより 2020 春<号外3>

栃木県立真岡高等学校定時制 〒321-4331栃木県真岡市白布ヶ丘24-1

電話:0285-82-3413 FAX:0285-82-2913

今できること

教 頭 植 竹 暁

『コロナウイルスで大変な時期だが、やる事はやる。先が不透明な部分も多いが、自分でコントロール出来ない部分にはフラストレーションを溜めず、コントロール出来る部分は100%取り組もうぜって事。予防も準備の一つ。』

これは、ラグビー日本代表の“笑わない男”こと稲垣啓太選手の言葉です。

「この雨いつ止むんだろう。何もできないよ。」と、自分でコントロールできないことに鬱々したり、イラついたりするのはなく、雨でもできること、雨だからできることは何かを前向きに考え、それに集中して取り組んだ方が充実した生活を送れるし、その結果としての未来も良い方向に変わってくるのではないかと思います。

生徒の皆さんにとって、今できること、こんな時でも、こんな時だからこそできることは何でしょうか。一人一人が自分の将来を見据えてよく考え、もうしばらく続く休校期間の生活を有意義なものとしてください。雨上がりに、皆さんと“笑顔”で会えることを楽しみにしています。

●栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部会議は、政府の緊急事態宣言の延長に伴い、県立学校の臨時休校を、5月31日(日)まで再延長するという考えを示しました(5/5火・下野新聞)。

私たちの周りにも、COVIC-19(新型コロナウイルス)が近寄ってきています。

あとに挙げる「新しい生活様式」の提言を実行して、全員、元気に過ごしてください。

●School holidays were extended again.

The school will be closed until May 31.

A new type of coronavirus is coming around us.

Please wash your hands and gargle well and spend well every day.

●Las vacaciones escolares se extendieron nuevamente.

La escuela esta cerrada hasta el 31 de mayo.

Un nuevo tipo de coronavirus viene a nuestro alrededor.

Lavese las manos y haga gargaras bien y pase bien todos los dias.

●As ferias escolares foram prorrogadas novamente.

A escola esta fechada ate 31 de maio.

Um novotipo de coronavirus esta chegando ao nosso redor.

Por favor,lave as maos e gargareje dem e passe dem todos os dias.

●Pinahaba ang pista opisyal sa paaralian.

Sarado ang paaralar hanggang Mayo 31.

Ang isang bagong uring coronavirus ay daratng sa paligid namin.

Mangyaring hugasan ang iyong mga kamay at mag-gargle nang maayos at gumastos ug mabuti araw-araw.

●はじめに●

保護者の皆さま、生徒の皆さん、お元気ですか？思いがけず休校が長引いていますが、せっかくなので家の周りにちょっと目を向けて見ませんか？**ちょっと前まで冬眠していた草木も、春の陽射しをいっぱい**に浴びて目を覚ましました。とちの木やアジサイの大きな葉も、みんな新しい若葉をまといだしました。この季節、COVIC-19（新型コロナウイルス）さえなかったら……、っと思うと、とても恨めしい思いに駆られますが、ここは、あまり感情的にならずに現状をしっかりと見て、**正しい判断と強い理性を発揮して生活**しなくてはなりません。

5月6日（水）までの**休校措置が5月31日（日曜日）まで伸び、分散登校の方針が示されました**。本校定時制は、その間、生徒の皆さんには、個々に時期を決めて登校して頂き、担任との面接や課題の説明、質疑応答などを行います。このような時期ですが、生徒の皆さんには、来るべき将来に備えてさまざまな知識をしっかりと自分のものにして頂きたいと思えます。

また、世界に目をやりますと、COVIC-19の勢いが衰える様子が見られません。世界全体で4月10日（金）に新型コロナウイルス感染者が10万人程でしたが、5月10日現在では3,917,366人だそうです（WHO）。ちなみに、3月31日（火）には、亡くなられた方は4万人超え。4月17日（金）に15万人、5月10日には、27,4万人を超えたそうです（WHO）。いかに、COVIC-19の感染力が強いかがお分かりと思います。わが国でも、5月10日現在、15,581人が感染確認されているようです。**栃木県では、既に出されていた那須塩原市に加えて、大田原市と那須町に「非常事態宣言」が出されました（下野新聞4/28・火）。このような状態の中、現時点で平穏な私たちの芳賀地区でも、いついかなる時にクラスターが発生するか分からないのが実情**ではないでしょうか。

保護者の皆さま、生徒の皆さん、どうか、COVIC-19という存在を「正しく恐れ」て、この難局を乗り越えましょう。

今回の＜号外3＞では、入学式や始業式で、ほんの少ししか一緒にいられなかった担任の先生や係の先生から生徒の皆さんへのメッセージを掲載します。どうか、ほんの少しでもよいかから「教室にいる雰囲気」を味わってください。

●担任先生からのメッセージ●

新任の挨拶に代えて

1年次担任（夕間） 石川 善行（地歴・公民科）

生徒の皆さん初めまして。宇都宮高校より参りました石川 善行と申します。真岡高校、真岡地区、そして皆さんとの縁を持つことができましたことを嬉しく思います。よろしく願い申し上げます。

世界中に拡散している新型コロナウイルスの感染速度は今の時代の必然です。人類とウイルスの遭遇は人類史における「農耕・牧畜」が始まった約一万年前から推定されます。多くの犠牲を払いながら、人類はウイルスと共生してきました。現在、新型コロナウイルスを抑えるワクチンはありません。しかし、我々には進歩を続ける現代医学があり、必ずワクチンは開発されます。現状における最大のリスクについては、ボッカチオの『デカメロン』が示唆を与えてくれます。社会生活や人間関係の荒廃、市民生活における蛮行。見えない敵に脅かされた時、人はその敵があちこちに潜んでいるかのように感じてしまい、自分と同じような人々も脅威だと、潜在的な敵だと思いついてしまう、それこそが危険です。冷静さを保ち、集団のパニックに巻き込まれないこと。そして予防策を講じつつ、これまでの生活をもう少しだけ続けて下さい。体調に問題がなければ、適度な運動もおすすめします。

話は変わります。先日、調べてみたことがあります。以下に Wikipedia の解説を紹介します。「真岡

(もおか)」の由来は、市街の中心部にあたる「台町」一帯の丘がかつて沼や沢で覆われ、水鳥たちの生息地になっていたようです。台地にそびえる松などの木々には、鶴が飛来し、その舞い飛ぶ様子があまりにも美しいので人々はいつからか、「ツルの舞う丘」、「舞丘(まいおか)」と呼ぶようになって、舞丘が「もうか」といわれるようになり、「真岡」と書かれるようになったとか。

私事になりますが、教員生活三十一年目を迎えました。この間私が続けてきたことは生徒の皆さんからの挨拶には、必ず声を出して挨拶を返してきたことです(そんなの当たり前だろ!というツッコミは自覚しております)。「挨拶」とは禅の言葉だそうです。「挨拶」の「挨」は「聞くこと」。「拶」は「迫ること」。つまり「挨拶」とは、「心を開いて、相手に迫ること」を意味するそうです。

本校の校訓『至誠』は深淵な意味を持ちます。とても素晴らしい校訓です。素晴らしい校訓や学校環境の中で、私は皆さんに心を開き、皆さんに迫りたいと思っています。

1年次生をはじめ、生徒の皆さんへ

1年次担任(夜間) 篠原 義勝 (理科)

皆さんこんにちは。1年次担任の篠原です。と言っても顔を合わせたのは、まだ数日なのでお互いそんな風にはいかないと思います。2月末の臨時休校に端を発して、かれこれ3か月目に突入してしまいました。皆さんはこの休校期間をどのように過ごしていますか。正直、臨時的な休みをうれしく思った時もあったのではないのでしょうか。しかし、さすがに長すぎますね。今後のことを考えるとゾッとします。本校に入学して、たった2日の皆さんはなおさらでしょう。そんな将来的にコロナ世代と呼ばれかねない皆さんには、どのような過ごし方をしてほしいのか、二つ伝えたいと思います。

一つ目は学校の課題はきちんと取り組みましょう。先生方は皆さんのためにコスパ最高の課題を用意しています。これは不透明な今後のために必ず生きてきます。

二つ目に、ニュースを観ましょう。普段ニュースを観ない人も、さすがに時間が有り余っているのではないのでしょうか。時事的な学びもしてほしいですが、なによりコロナという共通のテーマで、いろいろな人がそれぞれの立場で意見や考え方を話しています。それらをしっかりと聴いて、自分本位とならない意見や考え方をもち、正しい行動を選択・判断できる人間になる機会にしてほしいと思います。

この未曾有の休校期間だからこそ人間力を磨くチャンスだと思います。皆さんにはコロナ世代だから…ではなく、コロナ世代なのに…と言われる人間になってほしいと思います。では学校が再開したら会いましょう。楽しみにしています。

休校中の生徒のみなさんへ

2年次担任(夜間) 岡野 晃 (数学科)

こんにちは。4月から真岡高校定時制に赴任になりました岡野です。担当教科は数学です。始業式も放送という形で行われたので、未だに皆さんにちゃんとした形で挨拶が出来ていないことを残念に思っています。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け学校が休校なり2ヶ月が経ちます。学校に行き、勉強をしたり、友達と顔を見て話をしたりしたいですね。先生も同じ気持ちです。早く君たちと授業がしたい。どんな生徒たちがいるのだろう。どんな反応をしてくれるのだろう。そんなことを考え、ワクワクしながら、再開に向けての準備をしています。

再開した後もどうなるか不安に思っている人も多いと思います。しかし、「どうしよう、大丈夫かな」なんて思っても何も始まりません。自分にとって今やるべきことは何か。必要なものは何か。そんなことを考えてみてください。思い浮かんだのなら行動にうつしてみましょ。皆さんと会える日を楽しみにしています。

希望の闇

3年次担任 横川 航一 (情報科)

コロナウイルスで、令和元年度があっけなく終わり、長い春休みを経て、令和2年度がスタートしました。いつも通り登校し、美味しい給食を食べる。教室では、会えなかった時間を取り戻すように、クラスの仲間と話に花を咲かせる。そんな生徒の皆さんの姿を、とてもうれしく思いました。きっと、今年度の目標をたて、前向きな気持ちだったのでしょう。そんな気持ちとは裏腹に、状況は好転せず、再び臨時休業に突入しました。決意が揺らぎ、不安に押しつぶされそうな時もあるでしょう。そんな時に、思い出して欲しい言葉があります。

『未来は真っ暗。

お先真っ暗というのはすげー前向きな言葉だよ。そん中にすげー誰も見たことがない、どんなに勉強したってわかりっこない、素晴らしいものが隠れてるかもしんない。

真っ暗ってことはいいねえ。みんな平等で。』

これは、甲本ヒロト※さんの言葉です。未来がどうなるか、それは誰にも分からず、不安と戦いながら生きています。確かに特殊な状況ですが、「先が見えないというのは、今までと同じである」。そう考えれば、ちょっぴりだけ、ポジティブになってきませんか？

※甲本ヒロト (本名：甲本浩人)

日本のミュージシャン。1985年、THE BLUE HEARTS を結成。1987年にシングル「リンダリンダ」で、メジャーデビュー。

現在は、ザ・クロマニヨンズのボーカルとして活動中。

心に染みる音楽を

4年次担任 小森 法史 (英語科)

世界全体が、これほどまでに非常事態に陥り、自分には、言葉も見つかりません。ここでは、言い尽くされている表現や借りものの言葉を伝えることは、自分の本意ではないと感じます。更に感染症の専門家ではないので、能書きを垂れるつもりもありません。

こんな有事、この瞬間に僕が聴いて、最も心に染みる音楽を紹介して今回の投稿とします。気が向いたら、**YouTube**等で聴けます。

リボン

作詞:藤原基央 作曲:藤原 基央 BUMP OF CHICKEN

嵐の中を ここまで来たんだ 嵐の中を ここまで来たんだ
出会って生まれた光 追いかけて

ポケットに勇気が ガラス玉ひとつ分
それぞれ持っている ガラス玉ひとつ分
並べても同じ数 あの日から 始まりから

つぎはぎの傘 汚れたカンテラ
手作りの地図 大事と一緒に 使った

ここはどこなんだろうね どこに行くんだろうね
誰一人 わかっていないけど 側にいる事を選んで
今側にいるから 迷子じゃないんだ

たくさん笑ったり それよりはるかに少ない
泣いたり怒ったりしたことの全部が
音符になって繋がって 僕らを結んだ

ポケットに恐怖が 宇宙と同じくらい
それぞれ持っている 宇宙と同じくらい
同じ時に震えたら 強くなれた 弱くなれた

指さしたUFO すれ違った野良猫
あくびのユニゾン あと何があった 教えて

意地や恥ずかしさに負けないで
心で正面から向き合えるよ 僕らを結ぶリボン
解けないわけじゃない 結んできたんだ

君の勇気を 僕が見れば 星だ
並べても同じでありたい
ああ ここはどこなんだろうね
どこに行くんだろうね 迷子じゃないんだ

嵐の中を ここまで来たんだ 嵐の中をここまで来たんだ
カウントから セーので息を読み合って
泣いたり怒ったり笑ったりの全部で

嵐の中を ここまで来たんだ 出会って生まれた光 追いかけて
嵐の中を どこまでも行くんだ 赤い星並べてどこまでも行くんだ

●健康安全指導部から●

周囲を思いやって

部長 鈴木久美子

生徒のみなさん、こんにちは。新学期がスタートしてすぐ臨時休校になってしまい、日々状況が変わるなかで、みなさんが心身共に、元気に過ごしているか心配しています。4月8日に渡した「健康観察シート」毎日記録していますか？5月分のシートも手元に届いていると思いますので、引き続き、毎日、体温測定、体調チェックをしてください。学校再開後もしばらくは継続する予定ですので、この機会に習慣づけてください。そして、マスク等まだまだ入手困難なので、学校再開後も学校で準備するのは厳しい状況です。ネットにたくさんの手作りマスク情報が掲載されていますので、この機会にオリジナルの手作りマスクを作ってみてください。

一日も早くこの危機的状況を収束させるためにも、自分が新型コロナウイルスに感染しないように、そして自分を介して、他の人（周囲の人）にうつさないように、自覚を持った行動（密閉・密集・密接を避ける）を心がけましょう。

一人ひとりの意識と周りを思いやる気持ちが大切です。みんなで乗り越えましょう！

●生徒指導部から●

心の強さ

部長 佐藤 成之

昨年度から続くコロナウイルス感染症により、皆さんは今まで経験したことのない状況に置かれてしまいました。皆さんのように若い年代だけでなく、先生のような大人にとっても非常に難しい状況です。このウイルスのやっかいなところは、専門家の間でも実態の評価が大きく分かれるほど予測が難しいところにあるのではないかと先生は考えます。

社会では、感染症そのものだけでなく、トイレットペーパーやマスクの買い占め、転売などの行為、小売業に携わる人や医療関係者、疾病者とその家族に対する心ない言動や行動、著名人同士のSNSを介したののしりあい、他人の不幸に乗じた違法行為など数多くの問題が山積しています。

また、長引く自粛により経済的、精神的に追い詰められ、心の健康を害する人も増えているようです。通常の状態では良識的でいられる人も、恐怖や不安により、ストレスを抱え自分の心をコントロールすることができにくくなっているのは、人間の弱さの側面であり、仕方の無い部分もあるかもしれませんが、このような時期だからこそ、その人の心の強さが試される時ではないかと考えます。

こんな時は誰でもいらいらしたり、暗い気持ちになりがちです。そのことを自覚できなければ知らず知らずに誰かを傷つけることに繋がってしまいます。こんな時こそ、いつも以上に人に優しく、丁寧な対応をできるそんな心の強さをもちたいと先生自身も考えるこの頃です。

◆◆◆◆「新しい生活様式」提言（抜粋）◆◆◆◆

政府の新型コロナウイルス感染症対策専門委員会は、5月4日、感染拡大に備えた「新しい生活様式」をまとめ、提言しました。皆さんも、十分に理解して実行してください。（5月5日・火 下野新聞）

- 外出—マスク着用。帰宅後、石けんで30秒かけて手洗い。
- 人との間隔—間隔は、2疋（最低1疋）空けて。
- 移動—（発症したときに備えて）誰とどこで会ったかをメモしておく。
- 日常生活—毎朝、検温。定期的に部屋の換気を。
- 買い物—1人か2人で、素早く。あれこれと、ものを手に取らない。
- スポーツ—ジョギングは距離を取って少人数で。
- バスや電車—会話は控えて、空いている時間帯を利用。
- 食事—料理は個人盛りで。おしゃべりは慎む。横並びに座る。

白布のかぜ～あとがきにかえて～

私たちの暮らすこの栃木県は、現時点では感染者数（56名 5/10現在）が他県に比べて多くはありません。しかし、自分を守るためには、一人一人が公的な要請を遵守して、自己中心的な生活を送ることのないようにすべきです。

そうは言っても、このような日常生活では、我が侬のひとつも言いたくなるでしょう。でも、（筆者も含め）この窮屈な日常の中で、なにか自分（達）の心に響くアイデアを考えてみてください。そして、どうぞ、中身の濃い時間を過ごしてください。

ところで、私たちを取り巻く「自然」は、人間界の騒動には関わりなく力強く「春」を迎えています。そんな「自然」の中であって、私たち人間はとてとつても「ちっぽけな生き物」です。それが、もっとも小さな「ウイルス」に取り付かれて、一瞬にしていのちを落とす方も少なくありません。そのような現在、「いじめ」だとか「詐欺」だとか、自分だけの歪んだ「満足」を求めるのではなく、私たちは、もっと大志をいだいて「人類の、人間の命を守り生かす」ことを考えるべき時に来たのかも知れません。

<記録・広報係／出版係>

◆外国人向け、新型コロナ相談ホットラインを開設—県国際交流協会

- Established new coronavirus consultation hotline for foreigners.
- Se establecio una nueva linea directa de consulta de coronavirus para extranjeros.
- Estabececeu nova linha direta de consulta coronavirus para estrangeiros.
- Itinatag ang bagong hotline ng coronavirus consultatain para sa mga dayuhan.

<とちぎ朝日 5月1日号から転載>

◆コロナ感染軽症者の、13の症状！

4月29日付けの讀賣新聞に、厚生労働省が発表した「緊急性の高い症状」を自分でチェックできるリストが掲載されました。

このような症状が出ないことが一番良いのですが、万が一、保護者の皆さまや生徒の皆さん、お近くの方々に発症の兆しがありましたら、**かかりつけの病院や保健所に相談**してみてください。

<讀賣新聞 4月29日号から転載>